

# 『秩父市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）』 実績報告



## ◆温室効果ガス排出量の現況◆

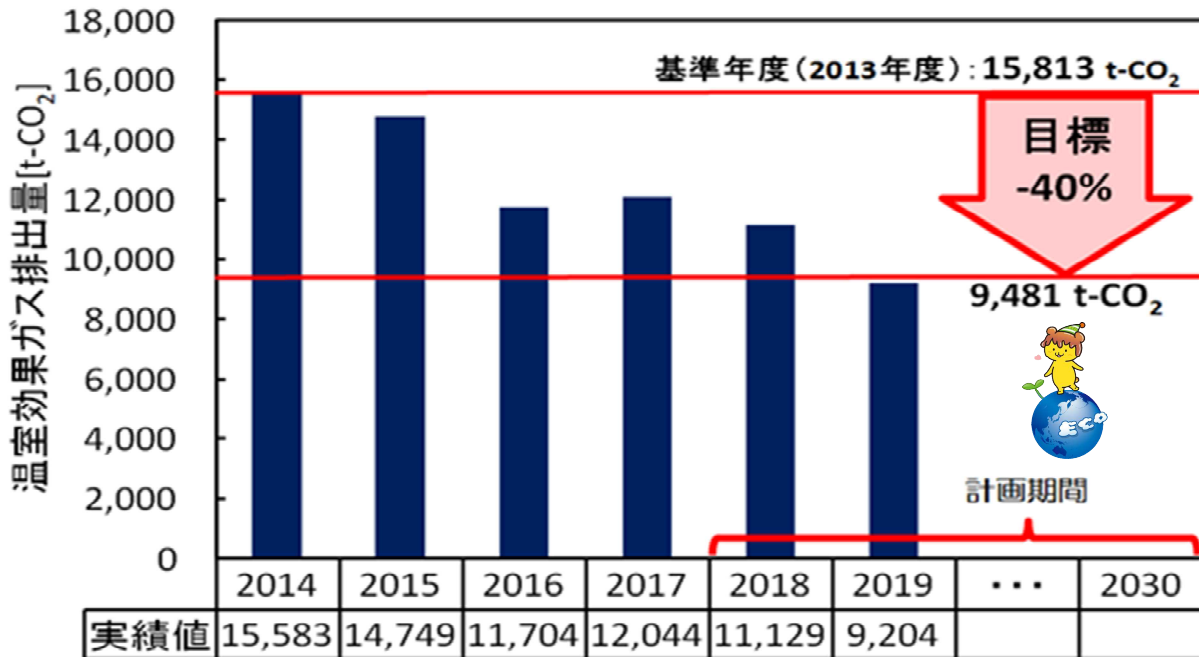
2015（平成 27）年に国連の会議「COP21」において採択されたパリ協定の枠組みの中の「日本の約束草案」では、温室効果ガス排出量を 2030（令和 12）年度に 2013（平成 25）年度比で 26%削減することを目標とし、これを達成するために、部門ごとの削減目標が設定されています。地方公共団体が属する「業務その他部門」では 2030（令和 12）年度に 2013（平成 25）年度比で約 40%削減することが求められており、これに伴い、本市においても全部局で 40%削減することを目標とし、取り組んできました。

主な取り組みとしては、2018（平成 30）年度に「ほのぼのマイタウン」、「文化体育センター」、「吉田元気村」の省 CO<sub>2</sub> 化改修を実施し、また 2019（令和元）年度から市公共施設において秩父新電力(株)が供給する CO<sub>2</sub> 排出係数の低い電力の使用を開始しました。

その結果、2019（令和元）年度は 2013（平成 25）年度比で温室効果ガス排出量を約 **42%削減**し、当初の目標を達成することができました。

2019（令和元）年 12 月に、2050（令和 32）年までに市内の CO<sub>2</sub> 排出量実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」の実現に向けて取り組むことを宣言した本市では、より一層 CO<sub>2</sub> 排出量を削減できるよう計画的に各種施策を推進します。

※係数は毎年変動し、その算定年度用に定められた係数を使っています。



## ◆排出量削減に向けた 2020 年度の主な取り組み

- 公共施設のエネルギー使用設備（照明・空調・給湯等）の省 CO<sub>2</sub> 化を図るため、照明の LED 化等、効果的な改修事業の検討を進めます。
- 再生可能エネルギーの地産地消を図るため、秩父新電力(株)と連携し、新たな電源開発事業や既存電源の地域内活用に向けた各種の取り組みを進めます。
- 全職員で「COOL CHOICE」（クールビズ、ウォームビズ、エコドライブ、照明点灯時間の縮減、ペーパーレス化等）に取り組めます。